



## 第7回九州ミッドアマチュア選手権競技

競技報告 (2017/ 10/18-19)

写真と記事 : M. Kikutake

### 通算2オーバーの146

## 52歳、牛島中(志摩シーサイド)が初優勝

第7回九州ミッドアマチュア選手権競技は10月18、19日の2日間、宮崎市の宮崎カントリークラブ(6558ヤード、パー72)で行われ、通算2オーバー、146で回った52歳、牛島中(うしじま・なか、志摩シーサイド)が初優勝した。

牛島は初日、5バーディー、4ボギーと出入りの多いゴルフながら、3バーディー、2ボギーの56歳、大倉清(浮羽)と並び、1アンダー、71の首位タイのスタート。終日小雨が降り続く中でのラウンドになった最終日は、前半で牛島は3ボギーの39としたが、大倉は出だしから3連続ボギーを打つなど、前半1バーディー、6ボギーの41とスコアを乱し、牛島が抜け出した。後半も牛島が1バーディー、1ボギーと手堅い攻めを見せたのに対し、後続もスコアを伸ばせず、そのまま牛島が逃げ切った。

牛島は今回のミッドアマチュア選手権優勝が、自身の九州選手権初タイトル。日本選手権は2007年の第7回日本ミッドアマチュア選手権で優勝しており、ジャパンが先行していた。



### 牛島は雨中戦を制して自身初の九州選手権タイトル

#### 56歳のシニア大倉清(浮羽)も5位タイと善戦

大会は25歳以上が参加資格で、各県地区予選を通過した選手ら140人が出場(欠場3人)。初日は曇り、微風の好コンディションだったが、最終日はスタート時点から小雨に見舞われた。(最終日19日のコンディションは雨、気温19.3度、北北東の風1.5m/s=正午現在)



#### 地元の荒木幸三がベストスコアをマークして3位に

そんな中、初日は大倉、牛島の両ベテランが1アンダーでトップに立ち、1打差のイーブンパー、3位に34歳、渡辺卓(大分)。さらに1打差、1オーバーに地元宮崎のベテラン51歳の山内浩二(フェニックス)と28歳の若手、伊妻恭平(久住高原)がつけるなど、首位と3打差に8人がつける少数接戦となった。





9オーバーの81、75位タイまでの83人が進出した最終日は、しのつく雨でスコアも伸びず、結果的には3オーバーと手堅いラウンドを見せた牛島が栄冠をつかんだほか、やはり3オーバーの75と粘った渡辺が1打差の2位。さらに1打差の3位タイには、この日のベストスコア72をマークした地元の42歳、荒木幸三（宮崎）と、38歳の米倉雄一郎（浮羽）の2人。初日トップタイだった大倉は結局、5オーバーの5位タイ。前回優勝の荒川英二（福岡雷山、46歳）は通算12オーバーで、昨年の日本シニア選手権を制しているベテラン榎隆則（大分中央、58歳）とともに33位タイだった。

（写真上Ⓔは2位の渡辺卓、Ⓕはホームコースで3位に入った荒木幸三。Ⓖは5位タイと健闘した56歳のシニア大倉清＝荒木の写真は「ゴルフタイムス」提供）

## 第22回日本ミッドアマ(11月15日～熊本・阿蘇大津GC)

### 14人が出場権獲得

この試合の結果、11月15～17日、熊本県の阿蘇大津GCで行われる第22回日本ミッドアマチュア選手権は、上位14人（シード選手を含む）が出場権を獲得した。



## 10年前の日本Mアマチャンピオンの牛島中

### 「念願だった九州タイトルが取れてうれしい」



2007年、九州アマ3位タイで出場した日本ミッドアマチュア選手権を九州勢としては初めて制した。以来、早いもので10年。牛島は「ローカルな大会など、いろんな試合を合わせてこれで（通算）52勝目になるけど、九州ゴルフ連盟の公式戦タイトルが取れたのが何よりもうれしい」と日焼けした顔をほころばせた。

福岡県出身の牛島は14歳の時、単身渡米。米国を生活の拠点としながらパシフィック大時代はゴルフチームに所属して全米アマに出場、オールアメリカンにも選抜されたという経歴を持つ。

卒業後は投資顧問として日米を行き来していたが、生活の拠点を九州に移してとったのが、日本ミッドアマの“ジャパン”のタイトル。それまでは、九州では無名の存在で、これをきっかけに以後、九州アマチュア選手権や、九州ミッドアマ選手権で上位に食い込む活躍を見せたものの、「九州」のタイトルとは無縁だった。

そんな牛島が“ジャパン”から10年で勝ち取った「九州」タイトル。そのラウンドは、ベテランの大倉とともに首位に並んでの最終日で、小雨が降り続く中。牛島は、「これくらいの雨は」と気にするわけでもなく、むしろ「高麗グリーンは好き。スピードといい、ここまで気持ちよく仕上げてくれていたコース管理は見事と

言うしかなかった」と言った。

最終日に際して気を付けたのは、「とにかく両サイドの林に打ち込まないこと。一歩間違えればダブルボギーになるから」。開設57年で見事に育った防風林の松と、日向灘からの風。戦略通りに己を律し、コースを制しての初優勝だったのだ。

今年の“ジャパン”（日本ミッドアマ選手権）は、九州（11月、熊本の阿蘇大津GC）が舞台。どう臨むのか。「最近自分のゴルフも好調だから、（九州で優勝という）いい流れでいきたいですね」。そう言う牛島の目標はもちろん、ジャパン2勝目である。（写真は牛島のドライバーショット）